浄土寺だより

派　舎
寺　精
願　本
本　根
宗　宗
真　真
土　見
浄　石

ともしび

平成28年11月号　*Vol56*　発行日　１６１１１２
〒６９９－４６２１
島根県邑智郡美郷町粕渕３５４
浄土寺 門信徒会
TEL　0855―75―0064　FAX　0855―75―0264

月々のことば

十一月（二十・二十一日）　報恩講
お肉一切れが
牛一頭の命

十二月（十七日）　四季講（歳末法座）
アミダさまは選ばれず
見捨てずの仏さま

一月（十五・十六日）　御正忌法要
おはようございますアミダさま
今日も一日ご一緒ですね

二月（十六日）　初法座
生を奪う死は
また生きる意味を与える

三月（二十日）　春彼岸法座
怒りのなくならぬことを悲しむ
仏法のお育てだなあ

四月（二十・二十一日）永代経法要
お経さんは
私への釈尊のみ声でした

ご案内

伝灯奉告法要 団体参拝募集！

十月より第二十五世専如門主伝灯奉告法要が始まりました。佐波組でもこの度のご勝縁に遇うべく**来年五月**に団体参拝を計画しています。佐波組では**八十名の定員**となり、締め切りは六月末となっていましたが**定員に満たず再度十一月末締め切り**となりました。**浄土寺からも十名の枠**があります。是非ご参加、お参り下さい。案内状の中に申込用紙を同封しています。そちらにご記入し浄土寺までお持ち下さるか、ご連絡下さい。

とき　平成二十九年五月二十七日(土)～二十九日(月)　二泊三日

内容　27日美郷町各地（バス）―粕渕（七時頃）―京都ご本山法要参拝―京都湯の花温泉泊―28日姫路城・灘酒蔵見学―小豆島温泉―29日オリーブ園―寒霞渓―美郷町

旅費　五八,〇〇〇円

人数　佐波組で**八十名**

〆切り　十一月末

本山で帰敬式（おかみそり）もあります

帰敬式（おかみそり）とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮を送ることを誓う、私たちにとって最も大切な儀式です。受式され、仏弟子となった方にはご門主さまより法名が授与されます。**是非ともこの度のご縁に帰敬式を受式し、共にお念仏を喜**

リビング法話「何でも話せる場所」

住職　西原真公

ぶ人生を歩みましょう。

こんな詩に出会いました。小学六年生（当時）の中村良子さんが書いた『宿題』という詩です。良子さんのお母さんは若くして亡くなりましたが、学校の宿題で「お母さんの詩」が出されたのです。先生から「つらい宿題だと思うけど、がんばって書いてきてね。お母さんの思い出としっかり向き合ってみて」と言われました。詩の一部ですが紹介します。

がんばってがんばって書いたけれど
お母さんの詩はできなかった
一行書いては なみだがあふれた
一行読んでは なみだが流れた
今日の宿題はつらかった 今までいちばん
つらい宿題だった
でも「お母さん」といっぱい書いてお母さん
に会えた
「お母さん」といっぱい呼んでお母さんと
話せた
宿題をしている間 私にもお母さんがいた

住職になって、いろいろな人の死と、その家族や周囲の人たちに会ってきました。僅かな経験ですが私が学び感じていることは、「死んだら終わりではない」と仏教が説き続けてきたことが、“その通りだ”ということでした。「死んだら終わりではない」ことは、私の死ということと、遺（のこ）された方にとっても、その両方に言えることなのです。

少し前、ご門徒さんからこんな質問を受けたことがありました。その方は、連れ合いの方と二人で暮らしていましたが、連れ合いの方が先に亡くなり、いま家にひとりぼっちで暮らしています。お仏壇に向かって、昨日あったこと、今日あったこと、うれしかったこともつらく悲しいことも、時には愚痴や不満も話しかけるそうです。

「それはいけませんか」というのが質問でした。「おうちのなかで、何でも話しかけられる場所があってよかったですね」と、私は答えたように記憶しています。今までは、家の中で話しかける相手がいたのですが、先立たれたあと、お仏壇に向かって話しかけるようになったというのです。

お仏壇の前に座ったとき、阿弥陀さまを見つめながら、亡き夫に話しかけているのかもしれません。話しかけても決して返事がもどってくるわけではありません。それでも、いつでも、ずーっと黙って聞いてくれているのでしょう。きっと、どんなに日々支えられていることかと想像します。

仏教が「死」を通して「生」を考えることを示し続けてきたからこそ、仏教が私に生きる力を与えてきたのではないかと思っています。そして、

わが「いのち」を精いっぱい生きていくためには、時には亡き人に出会える「ところ」「とき」が必要なのです。その出会える「ところ」や「とき」は、人それぞれです。

その一つに、お寺の本堂やお仏壇、あるいは儀礼があるとすれば、いまを生きる私にとって、宗教的空間や宗教の意義はとても大きく大切なものではないかと思うのです。

合掌

▽▲▽▲▽　お知らせ　▲▽▲▽▲

納骨堂入所募集！

浄土寺では昭和四十二年以来、持仏堂を納骨堂として兼用し、今日まで多くの方にご利用頂いております。現在76基中**18基の空き**があります。まだまだ余裕がございますのでご検討してみて下さい。

納骨堂は門信徒の方々にご利用頂くことによって、浄土寺の護持とご法義の繁盛に大きく貢献するものであります。今後とも皆様のご協力を賜り、お念仏の絆を深めていただくことを念願し、ご案内申し上げる次第です。

又、今後のことを考えますと、核家族化という家族制度の変化や少子化の進化で、お墓を守る継承者がいない環境にある方々が増えつつあります。このような悩みを解決する手段として、継承者に代わり、お寺でお預かりして永代に維持、管理をしていこうという考え方で、今後は納骨堂と併せての合同墓をも検討してまいります。今のところ、どのくらいのご要望があるか推測できずにいます。もし興味、又はご希望がありますればお気軽にお寺にお尋ねください。

継職法要の決算報告と総代長の町長再選

四月二十三・二十四日に、親鸞聖人七五〇回大遠忌、本堂内外修復慶讃、浄土寺開創七百年記念、第二十五世継職奉告の大法要を円成できましたこと、厚く御礼申し上げます。

法要から半年が経ちすべての決済が終了し、収支決算がまとまりました。詳細は別紙にてご報告しますが、予算一八〇〇万円のところ、門信徒の皆様の多大なご懇念より総額二一〇〇万円の収支となり、支出も収支の枠の中に収めることができました。五万円強、金額が残りましたが修復法要委員会で諮り、門信徒会の会計に入れることとなりました。総会でもご報告しますが、まずはこの書面をお借りしてお知らせ致します。この度は、ご門徒の皆さまや地域の方々の支え、ご協力の下により厳修することができましたこと、深く感謝しております。誠に有難うございました。

また、十月には美郷町の町長選があり、現町長であり浄土寺の総代長でもある景山良材さんが立候補しました。今回も選挙となり、厳しい選挙戦ではありましたが、無事、当選しました。嬉しい限りであり、ひと安心しています。おめでとうございます。町長二期目となりますが、昨今の美郷町の現状は三江線も廃止と決まり、厳しいことと思います。今後も忙しくなるとは思いますが、町政同様に、これからの浄土寺の舵取りも宜しくお願いします。

合　掌

第4回流土寺杭グランドゴルフ大会

今年は六月二十八日（火）門信徒の皆様と美郷町防災公園で第四回浄土寺杯グランドゴルフ大会を開催しました。今年もたくさん参加していただき、二十六名でプレーしました。毎回初心者の方も参加頂き、ベテランさんの中に混じって楽しくプレーできました。表彰式、閉会式は浄土寺本堂で行い、向拝（ごはい）で記念撮影。また来年も開催します！

たすけあい運動募金

東日本・熊本大震災に支援金を！

平成二十三年三月の東日本大震災から五年、今年四月には熊本地震がおこりました。被災地の苦悩が、忘却され風化しつつある今、被災された方がたの悲しみを聴き、その声に応えた心と心のつながりが生まれる支援が必要とされています。少しでも被災された方々と寄り添っていくにはどうすればよいか、『絆とは、忘れないためには？』と考えた末、法要毎に「大震災支援金」を募っております。これはボランティア活動や復興支援活動等の経費に充当するための支援金です。お参りの際はよろしくご協力をお願い致します。

「支援金」は復興支援活動を行う人びとや被災者を応援できる制度です。

◆除夜会の案内◆

今年も十二月三十一日午後十一時半より除夜の鐘つきを行います。「甘酒」を振る舞いますので、昔来られた方も今回初めての方も是非お参り下さい。**今年は竹灯籠も灯します**。そして阿弥陀さまに年賀の挨拶をして新しい年の出発をしていきたいものです。

十二月三十一日　午後十一時三〇分より除夜会

二〇一四年一月一日午前十時より修正会をします。

感じるお寺～聞法と音楽のつどい

九月十七日(土)の夕方、『おおちブラスバンド』の演奏と広島県三次市からザ・フロンテさんをお招きしました。フロンテはお寺の若住職と若坊守の二人組でピアノとフルートのデュオです。どちらも音大で学ばれ演奏はプロ級でした。参加された方々も二人の素晴らしい演奏に感激され、本堂はその時ばかりは音楽ホールのようでした。開会式では坊守が中心となり春の法要で結成された「コーラス隊」による音楽法要を勤めました。若い方の歌声が本堂中に響き渡り、老若男女　楽しい時間を過ごしました。

これからの主な行事

平成二十八年度

十二月　四季講（十七日）
　歳末法座・仏婦報恩講と兼ねる
　大晦日（三十一日）除夜の鐘つき
　　晩十一時半から

平成二十九年

一月　元旦修正会（元旦）年始午前十時より
　総代会
　門信徒会役員会
　御正忌（十五日）晩大逮夜
　御正忌（十六日）
二月　初法座（十六日）
　仏婦総会（二十六日）
三月　春彼岸法座（二十日）
四月　永代経法要（二十日～二十一日）
　　窪田英俊師
　門信徒会総会　二十一日　十時
五月　降誕会法座（二十一日）初参式
六月　四季講（十日）　武田晋先生
七月　安居会（十六日）
八月　盆法座（十九日）
九月　秋彼岸（二十三日）
　　前住職・前坊守追弔法要
十月　芋法事（十六日）仏婦例会も兼ねる
十一月　報恩講（二十日～二十一日）

★みちくさ日和
美郷町観光協会主催の体験プログラムの2つが浄土寺を会場として行われました

『みさとの怪談～美郷のミステリーゾーンへようこそ～』

九月十五日（木）仲秋の名月の夜に、美郷町の歴史や伝承とつながるミステリーを朗読してもらいました。雰囲気たっぷりの本堂で、参加者のみなさんは、次第に物語りに引き込まれていきました。

『浄土寺 de 寺子屋「カルタはじめ」』

十月二日（日）坊守が案内人となり、お寺の本堂で百人一首かるた体験をしてもらいました。競技かるたではなく、おうちでするような百枚かるたを並べ、本堂の畳の上でカルタ取りを楽しみました。終わりはお寺で坊主めくり（笑）。最後まで和気藹々、参加者満足度ピカイチでした。

映画上映会

『ブラジルの土に生きて』というブラジルに移民した日本人夫婦の晩年の生活を記録した映画が、十月四日（火）に上映されました。普段はブラジルに在住の監督も、臨席、上映後は活発な意見交換が行われました。

国際ワークキャンプ

美郷町に国際ワークキャンプのために各国から（ロシア・エストニア・チェコ・イギリス）来日したキャンパーたちに、お茶を差し上げました。

一日研修旅行

十月二〇日、門信徒九名の方と、邑南町市木の浄泉寺様の報恩講に参拝しました。浄泉寺の山門は、石見三大門の一つであり、実際に拝見すると本当に立派な楼門でした。住職様や坊守様の温かい歓迎を受けながら、まごころこもったお斎をいただき、ゆっくりお聴聞できることを喜び、最良のひとときを過ごさせていただきました。また来年もどこかの報恩講にお参りに行きましょう！

永代経懇志上納された方々

【平成二十八年十一月一日現在】
（平成二十八年四月から平成二十八年十一月まで）

釋徳海（俗名：福間　寅代）施主　浜原　福間　肇　殿
慈真院釋尼瑤琴（俗名：木村　琴代）施主　広島　三宅　美知子　殿
釋晃隆（俗名：杉本　隆徳）施主　野間　杉本　郁枝　殿
慈遵院釋明教（俗名：大野　雅通）施主　相生　大野雅紀　殿
釋富晃（俗名：半矢　富子）施主　共栄　半矢　恵彬　殿

忝なくお受けし教化の資とさせて戴きます

永代経懇志とは故人が今生でお念仏のお育てを頂き、浄土へ往生した証（あかし）として、形見を遺（のこ）すための上置きの懇志です。